

# 平成 28 年度 村上市・岩船郡道徳部 活動報告

部長 貝沼 史弘

## 1 研究主題

「道徳的実践力を高める道徳の時間の工夫」

## 2 研究の概要

- 4月28日 第1回道徳部会 1年間の事業計画立案
- 8月19日 第2回道徳部会 講演会
- 11月30日 道徳授業研究会参加（第1学年及び第5学年の授業公開）

## 3 研究の実際

- (1) 4月28日 部会 <事業計画立案：村上市総合文化会館>  
研究テーマや分担，活動計画について話し合った。講演会と授業研究という2つの活動を行うことを確認した。
- (2) 8月19日 研修会 <講演会「道徳の教科化に向けて」：村上市総合文化会館>  
三条市立大崎小学校 捧 信之校長を講師に迎え，「特別の教科 道徳の実施に向けて」というテーマで講演会を行った。道徳の歴史や「特別の教科 道徳」実施にあたっての変更点，平成30年度の実施に向けて各校で取り組むべきこと，「考え・議論する道徳」を踏まえた実践例をもとに講演いただいた。会員からも，分かりやすく見通しがもてたと大変好評で有意義な研修となった。
- (3) 11月30日 研修会 <村上市立西神納小>  
西神納小学校の道徳教育研究会における授業公開と協議会に参加した。  
第1学年（「はしのうえのおおかみ」主題名「親切な心で」B-6親切・思いやり）  
第5学年（「レジにて」主題名「いつでも親切に」B-7親切・思いやり）

1学年，5学年ともに「目的をもって資料を読ませる工夫」，「児童の考えの可視化をもとに話し合いをさせる工夫」，「学んだことや考えたことを記述させる工夫」を指導の柱に授業を行った。

1学年での元気ルーレットや5学年での心のものさしは，児童の思考を可視化することに有効であった。また，どの学年も問いをもとに課題に向かって真剣に考える姿が見られた。



## 4 成果と課題

- (1) 講演会では，「特別の教科 道徳」の実施に向けて見通しをもつことができた。平成30年度の実施に向け，郡市内の全小学校で円滑にスタートできる環境をつくっていくことが今後の課題となる。
- (2) 授業公開や協議会を通して，児童の考えを可視化させる方法や価値について学ぶことができた。全学年で行っている道徳ノートの使い方について研修を深めていく必要がある。